

# 静岡地域勉強会の活動

2014年4月21日(月)

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)  
地域勉強会

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

- **活動の状況（2013年4月～2014年3月）**
  
- **静岡県**の状況
  - **静岡県事業継続計画モデルプラン  
第三版の公表**
  - **静岡県交通基盤部総合評価落札方式に  
おける災害時事業継続計画**
  - **事業継続計画の策定状況**
  
- **今後の活動予定**

# 活動の状況

◆ 会員数 年度初17名→年度末19名

◆ 勉強会開催概要

- 4月から8月は、静岡地区にて毎月勉強会を開催した。
- 9月からは、新規企業会員増加を狙い静岡県を3地区に分割しセミナーを行った。
- 2月・3月は、再び静岡地区にて勉強会を開催した。

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 月別 活動状況

4月から8月は、静岡地区にて毎月勉強会を開催した。

4月 運営会議報告、勉強会 活動方針確認、会員情報交換

5月 研究会・勉強会活動報告会 報告、標準テキスト第8版に対する討議

6月 会員情報提供 ①IS022301によるBCMS構築について

②BCP策定企業の検証とワークショップ「現在レベルの気づき」

7月 静岡県庁訪問報告、勉強会運営変更に係わる意見交換、クラウド利用に係わる討議

8月 会員情報提供 ①企業の災害対策本部設置・運営訓練の紹介

②県内地区の防災訓練及びファシリテーターの育成状況の紹介

③DCP+BCP策定地区の紹介

④防災型BCPから脱皮した企業の儲かったBCPの紹介

9月からは、新規企業会員増加を狙い静岡県を3地区に分割しセミナーを行った。

内容は、危機管理対策機構のD-PACプロジェクト「**想定外への挑戦**」

10月 富士・沼津・三島地区 申込者不足で延期

11月 浜松地区 13名参加で浜松にて開催

12月 静岡地区 35名参加で静岡にて開催

2月から3月は、静岡地区にて毎月勉強会を開催した。

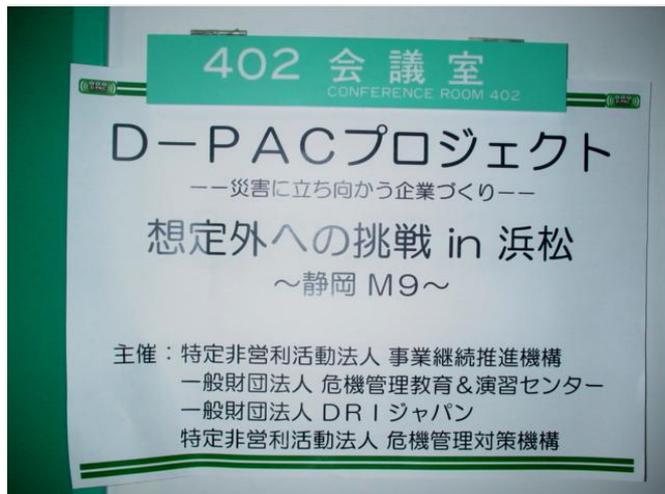
2月 運営会議報告、会員情報交換、「東京商工会議所版 BCP策定ガイド」の理解

3月 運営会議報告、会員情報交換、セミナー 「**事業継続と両輪の企業防災**」

「事業継続力を向上する代替戦略の構築」

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# D-PACプロジェクト



※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 事業継続計画と両輪の企業防災

## 内容

- ▶ 内閣府事業継続ガイドライン(第三版)の大幅改訂に伴い、今後、事業継続戦略の構築、特に代替戦略の構築が求められます。
- ▶ 東日本大震災、タイの洪水で実際に実行された「お互い様」に基づく代替生産を事例を取り上げ、現在、進められている成長戦略と連動した「お互い様BC連携ネットワーク」の取り組みをお伝えします。
- ▶ なお、事業継続力を向上するための訓練についてもご紹介させていただきます。



危機管理対策機構

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAU全体の見解ではありません。

# 静岡県事業継続計画モデルプラン第三版



## 静岡県事業継続計画モデルプラン(第3版)

～ BCPからBCMへ～



静岡県経済産業部

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 第三版 改定のポイント

## 1 BCPからBCMへ

第2版は、おおむねBCP=BCMという考え方にに基づき改訂したが、今回は、BCPを「文書化された対応手順計画」と位置づけ、これを包含する形で、BCMという概念を掲げ、理解を促している。BCMとは、効率的・効果的に企業の「事業継続能力」を磨き上げるためのマネジメントプロセスであり、そこから生み出される計画がBCPとなる。

※ BCP (Business Continuity Plan)、BCM (Business Continuity Management)

## 2 東日本大震災の教訓を生かす

我が国に甚大な被害を与えた東日本大震災は、緊急時対応の教訓も残した。第3版の改定ではこの教訓を踏まえた対応の考え方を提示している。ポイントは以下のとおり。

- ・原因となる災害や事故ではなく、結果として生じる事象に着目する
- ・中小企業は企業の枠内にとどまらず、外部との連携を含めて事業継続を考える
- ・沿岸部に立地する企業では、最低限の責任として津波から人命を守る対策を立て、企業として存続し、やり直せるだけの減災対策も検討する
- ・自社だけではなく、取引関係も含めた対策を立て、実践する

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 続き

## 3 経営戦略との整合を図る

BCM、事業継続戦略と経営戦略の密接な結びつきを理解してもらった上で、うまく整合させることで相乗効果を発揮させるという発想を提起。

## 4 BCMの平常時における効果にも注目

BCMは災害や事故の発生時に効果を発揮するのみならず、取り組み方によっては平常時の業務でも「収益・売上の増加」「業務効率化」「人材育成」といった観点から効果が見込める。

## 5 その他

### ・資金面のチェックを促す

「被害の程度を検討する」作業において、静岡県信用保証協会のBCP特別保証申請を念頭に、資金面のチェックをしてもらう。

### ・教育・訓練の重要性を示唆

BCMは、その意義や仕組みを従業員に十分理解してもらい、緊急時の行動を身に着けてもらわなければ意味がないため、定期的な教育・訓練の重要性に訴え、取組の実効性を高めることを狙う。

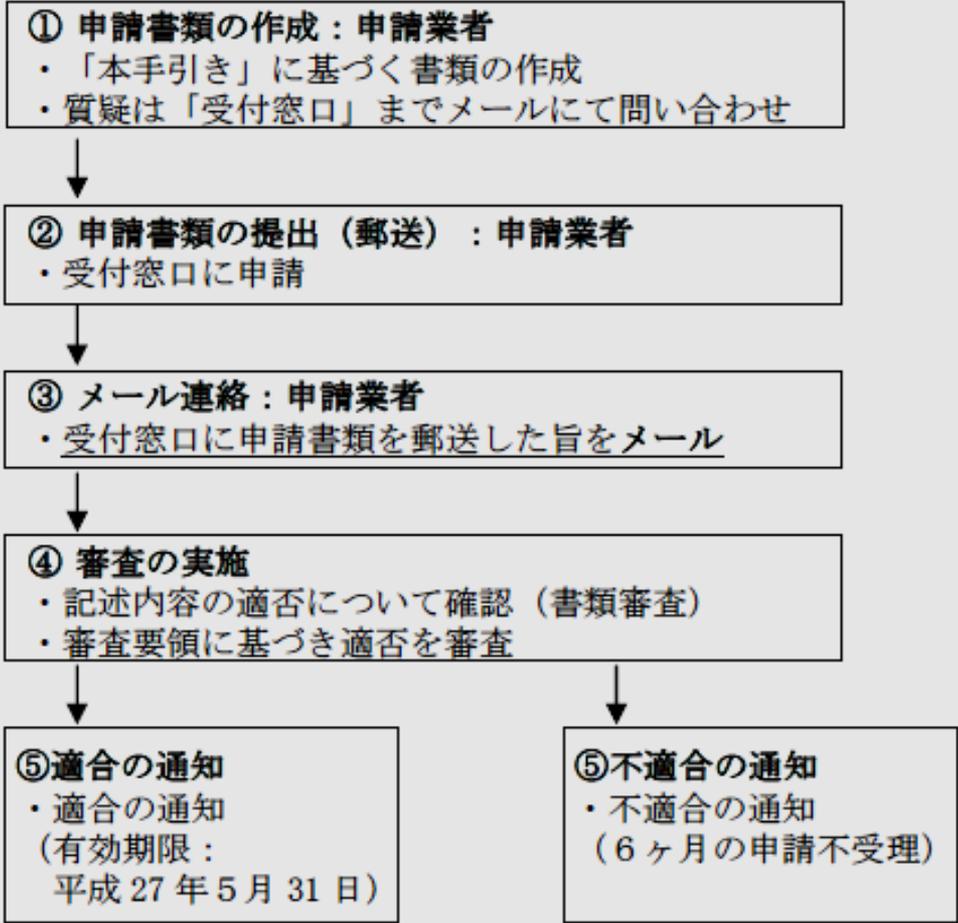
※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 静岡県交通基盤部総合評価落札方式における災害時事業継続計画

平成26年6月1日以降に公告される総合評価落札方式の入札案件（工事）に0.5点加点される

## 2-2 審査に関する手続きの流れ

①～③は、建設業者の作業です。



受付窓口メールアドレス：[gijyutsu-center@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:gijyutsu-center@pref.shizuoka.lg.jp)

見解ではありません。

# 県内中小企業のBCP策定状況（平成23年度）

項目	内容			
策定状況	知っている73.1%(50.4%)	BCP対応47.2%(31.4%)	策定済み5.7%(5.9%)	策定済みに含む7.0%(5.2%)
			策定22.0%(15.1%)	策定中9.3%(4.0%)
			策定する予定25.2%(16.3%)	
			BCP策定予定なし25.9%(19.0%)	
	知らない26.1%(47.9%)			
想定した災害 (策定企業のみが複数回答)	地震(東海地震等)95.7%(96.1%)			
	火災、爆発などの事故43.3%(55.9%)			
	新型インフルエンザ等の感染症対策31.7%(32.3%)			

(カッコ内は平成21年度調査の数値)

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 今後の活動予定

- ◆ 企業会員増員活動
- ◆ 静岡地区の「お互い様BC連携N/W」拠点作り活動
- ◆ SSBC「戦略的相乗効果を狙った事業継続」の普及活動
- ◆ 静岡地区の「人的ネットワーク」構築とBCAO本部との連携による「普及活動」の加速

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人  
事業継続推進機構  
地域勉強会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation  
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)